

『散文詩』を読む人々のために
 である。放棄(あきらめの義)、永久の放棄——それが人生の秘義である。鍵である『ファウスト』
 『人生はただ人生のことを思慮せず、そして人生より何物をも要求せずして、安んじて人生が附與する僅少の賜物を受け、安んじてその賜物を利用する人を欺かない。汝は出来るだけ前に進め、しかし足が疲れたなら路傍に坐して、悲むことなく、また猜むことなく、通行者を眺めるがよからう。彼等も遠くは行くまい……』通信 (昇曙夢氏譯による)

—了—

大正六年六月十日印刷 大正六年六月十八日發行		大正六年六月十日印刷 大正六年六月十八日發行
著 者 生 田 春 月 <small>東京市牛込區矢來町三番地中の丸</small>		著 者 生 田 春 月 <small>東京市牛込區矢來町三番地中の丸</small>
發 行 者 佐 藤 義 亮 <small>東京市牛込區矢來町三番地</small>		發 行 者 佐 藤 義 亮 <small>東京市牛込區矢來町三番地</small>
發 行 所 新 潮 社 <small>東京市牛込區矢來町三番地</small> <small>電話 神田一八〇九番 八九九番</small>		發 行 所 新 潮 社 <small>東京市牛込區矢來町三番地</small> <small>電話 神田一八〇九番 八九九番</small>
印刷所 新潮社印刷部 <small>東京市神田區宮本町五 電話 下谷、四〇六七番</small> 印刷者 高橋 治 一		印刷所 新潮社印刷部 <small>東京市神田區宮本町五 電話 下谷、四〇六七番</small> 印刷者 高橋 治 一
定價金五十五錢		定價金五十五錢
番二四七一(東京)替撮		番二四七一(東京)替撮

縮刷獨歩叢書

武藏野及渚

新刊

運命	獨歩書簡集	渚聲	獨歩小品集
----	-------	----	-------

國木田獨歩作

第一編

『武藏野』は獨歩が始めて公にせる第一の文集。自然詩人としての獨歩の本領を最もよく發揮せるもので、散文詩としては天下の絶品と云ふ可く、夙に明治文壇の珍寶として重んぜられてゐるものである。『渚』は、再び起ち難き病床に、泣血の苦心を以て書ける彼が最後の作で、獨歩全作中、最も光輝ある一短篇と稱せられる。別に添へた『岡本の手帳』の一篇は、獨歩の人生觀の眞髓を直叙せる作、全獨歩を覗ふべきキイノオトである。

第二編

獨歩集

近目

▼富岡先生▼牛肉と馬鈴薯▼女難▼第三者▼正直者▼湯ヶ原より▼少年の悲哀▼夫婦▼春鳥……

獨歩が始めて世に認められたるは實に此の書によりて也。……

表紙木版摺美本一冊五十五錢送料六錢

新進作家叢書

中版百七十頁
定價四十錢
送料一冊四錢

新人競ひ起つて面目全く改まれる現下文壇の鳥瞰圖を示すべく本叢書を刊せしが果して大歡迎を受け賣行き極めて盛也。

- 第一 ■ 新らしき家 武者路 實篤著(再版)
- 第二 ■ 恐ろしき結婚 里見 淳著(再版)
- 第三 ■ 生あらば 豊島與志雄著(新刊)
- 第四 ■ 大津順吉 志賀直哉著(新刊)
- 第五 ■ 生と死の愛 谷崎精二著(近刊)

續刊	結婚前	長與善郎	手品師	久米正雄
	ギプスの床	相馬泰三	澄子の兄	江馬 修
偷	盜	芥川龍之介	題未定	中條百合子

江馬修氏著

長篇 受難者

第四版

大版五百五十頁
定價一圓三十錢
送料十二錢

最近文壇に於て最も多く讀まれ、世評の焦點となりしは『受難者』也。八百五十枚の新作長篇にして、青春の若々しき戀と新人道の痛切なる叫びと相經緯して成り、熱烈華麗、字々火の如く花の如く、これを讀む何人にも多大の刺戟を與へずんば已まず。今まさに搖動しつゝある新文藝に先聲をなすの一大作として何人も一たびは讀まざる可からず。和辻哲郎氏は『受難者』の出版は文壇近時の一大事件也と云へり

江馬修氏著

寂しき道

第二版

總洋布最上製
定價九拾五錢
送料八錢

江馬修氏の短篇創作集新たに成れり。短篇の集とは云ふも、巻頭の『山寺』は二百枚に近く、作者の最も自信ある傑作にして、而も未だ廣く讀まるゝの機會なかりしもの也。その他の諸篇いづれも作者の特色と長所とを示せる、すぐれたるものゝみなるが、中に『長崎にて』の一篇は最近の作にかゝり、本集に於いて始めて公にするものたり。本集が『受難者』と共に、廣く、且つ熱心に讀まる可きことを疑はず。

傑作選集 小さき世界

武者小路實篤著 價一圓廿錢 送料八錢

島崎藤村氏作

破戒

縮刷

價六拾八錢、送料八錢 第三版

家

縮刷

全一冊 價八拾五錢、送料八錢 第三版

田山花袋氏著 三部作縮刷完成

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| (1) 生
再版 | (2) 妻
三版 | (3) 縁
三版 |
|-------------|-------------|-------------|

定價各五錢 * 送料各六錢

『生』は若き文學者の生活を中心として新しく伸びゆく命と古く朽ちゆく命との對照に生の悲劇を描き『妻』は一文學者の壯年時代を描き主として兩性關係の秘義をあばく。『縁』は蒲團の後日譚とも稱すべきもの。何れも、花袋氏の自傳小説也。

夏目漱石著(六版)

漱石 色鳥

定價壹圓參拾錢、送料八錢

會て如何なる集にも收められざる『倫敦消息』に始まり、『我が輩は猫』『二百十日』以下、漱石先生が十數年間に亘れる全著作中より最も代表的なるものを選び、その短きはすべてを採り、長きは最も要所切所を含める部分をとって其の前後を解説し、而して是れを歴史的に排列して以て一冊となす。堂々五百五十頁、まさに、漱石先生全傑作選集と呼ぶ可き也。

トスルイ叢書

- | | | | | | | |
|-------------------------------|---|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| (1) 我が宗教
生田長江譯 (三版) | (2) イワン・イリイチの死 (附) 主人と下男 高架索の捕虜
福士幸次郎譯 (再版) | (3) 幼年・少年
江馬 修譯 (再版) | (4) ハチ・ムラート
相馬御風譯 (再版) | (5) 闇の力 (附) 生ける屍
中村吉藏譯 (再版) | (6) コサツク
廣津 和郎 (新刊) | (7) 青
江馬 修譯 (新刊) |
|-------------------------------|---|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|

八料送 □ 錢十七册一 □ 製布洋納

トスルイ著作

昇曙夢 米川正夫氏共譯
戦争と平和 (全六册)
 本邦唯一の露文直接譯、紙數二千四百頁
 ▼定價一册七拾五錢 送料一册八錢づゝ

阿部次郎氏譯
 光の中へ歩め
 定價卅五錢 送料六錢
 附録『愛あるところ神あり』

トルストイ小話文庫

トルストイが萬人の爲めに書ける教訓物語にして、歐洲にては毎册數百萬部を賣り盡くせりと云ふ眞に讀む可き書に候る人に見よ。

- (1) □ 蠟燭と二老人……………昇 曙夢氏譯
- (2) □ イワンの馬鹿……………福士幸次郎氏譯
- (3) □ 土地を要するだけか……………久保正夫氏譯
- (4) □ 火を等閑にせば……………衛藤利夫氏譯

小形 一册二十五錢
 美本 送料四錢づゝ

相馬御風氏譯
我が懺悔
 定價七十錢 送料八錢

相馬御風氏譯
人生論
 定價卅五錢 送料六錢

相馬御風氏譯
性慾論
 定價卅五錢 送料六錢

トルストイ傳

パウル・ピルコフ著
 相馬御風氏譯 (寫眞十四葉)
 定價七十錢 送料八錢

ルツソオ 懺悔録

生田長江氏譯 全一册九十五錢宛
杉榮氏譯 册送料一册八錢宛

ツダンヌオン 縮死の勝利

生田長江氏譯 定價九十五錢
送料八錢

ゴンチャフヤ オブローモフ

昇曙少氏序論 全(上)九十五錢
册(下)八十五錢 送料

ドストリヒン 赤い部屋

阿部次郎氏譯 定價一圓六十錢
江馬修氏譯 送料十二錢

同 地獄

江馬修氏譯 定價七十五錢
送料八錢

ダアキン 種の起原

大杉榮氏譯 定價一圓五十錢
送料八錢

ゲンセル 聖フランシス

久保正夫氏譯 定價一圓三十錢
送料十二錢

聖フランシスの小さき花

姉崎正治氏序 定價一圓二十錢
久保正夫氏譯 送料十二錢

364
181

終